

7月10日(月)

放棄する

聖書朗読 マルコ 14:32~42

「アバ、父よ。あなたにおできにならないことはありません。どうぞ、この盃をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願うことではなく、あなたのみこころのままを、なさってください。」
マルコ 14:36

何年も前、私が妊娠合併症になったとき、祈りを通して、神様に向けて、自分の思いをどのようにして放棄できるかを説明した本を読みました。アブラハムは、イサクを犠牲にすることについて自分の意志をどうやって放棄したのか、またイエス様はゲッセマネの園で、ご自身の思いをどのようにして放棄されたのかについて、本を読んで考えさせられました。

妊娠合併症のせいで赤ちゃんを失いたくないと思いながら、悲しい気持ちでベッドに座っていました。妊娠を諦めるように自分自身に祈ることができるのだろうかと思いました。そして、気づきました。たとえ、私が願うことではなかったとしても、それが神様のみこころであると知るならば、妊娠を諦めることができます。そう祈ることで、神様は私に心の平安を与えてくださいました。そして3カ月早産でしたが、男の子が生まれました。赤ちゃんは生まれながらに多くの健康上の問題を抱えることになりましたが、彼は生き続け、今日に至るまで敬虔なクリスチャンとして生活しています。

自分の思いや考えを放棄するのは容易なことではなく、それがなにかいいことであるときには余計に難しくなります。しかし、神様は驚くべき方法で私たちを救ってくださいます。それは、私たちが望むような方法のこともありますし、そうでないこともあります。神様のみこころは、私たちが常に求めるべきものです。今日、神様は、あなたに何を放棄するように呼びかけていると思いますか？

讃美歌 284

祈り 親愛なるお父様。みこころが、常に私たちの思いになりますように。そして、みこころを求め、覚える知恵と勇気を私たちが持つことができますように。イエス様のお名前において。アーメン。

スーザン・ギボニー

カリフォルニア州 サウザンドオークス

今日の力

2023年7月10日~7月16日

翻訳 村越克子
ハンコック真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月11日(火)

謙虚さは報われる

聖書朗読 ルカ 1:46~56

主は貧しい者を公義に導き、貧しい者にご自身の道を教えられる。

詩篇 25:9

子どものころ通っていた学校で一番人気のあった女の子のことを今でも覚えています。彼女は、校内の美人のひとりで、名家の出身で、頭が良くて自信に満ちた人でした。でも、彼女は本当に美しかったのでしょうか？ 謙虚な人でしたか？ それとも傲慢な人でしたか？ 人を見下すようなところがありましたか？ 彼女に好感をもつことができましたか？

真の美しさというものは外見からではなく、人の内面から生まれることを私たちは知っています。マリアにその美しい例を見ることができます。マリアはイエス様の母になる前から神様をあがめていました。注目すべきことに、神様はお姫様や裕福な家の娘をイエス様の母にお選びにはならず、むしろ身分の低い処女を選んだのです。マリアは謙虚で神様を畏れる人でした。純粹で、神様をご信頼し、神様が目を留められ、彼女のたましいは主をあがめ、彼女の霊は救い主なる神様を喜びたたえました。マリアは真に美しい人でした。マリアは「主はこの卑しいはしのために目を留めてくださったからです」と主をたたえました。またヤコブ4章10節には「主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。」と書かれています。主は、マリアを真に高くしてくださいます。

讃美歌 316

祈り 親愛なる主よ。人気者になりたいという誘惑がありますが、自分の外見で人気を得ようとするのではなく、謙虚で、愛情深く、人のことを思いやることのできるようにしてください。イエス様のお名前において。アーメン。

H. グレン・ボイド
アーカンソー州 サージー

7月12日(水)

神様をたたえる

聖書朗読 ルカ 5:17~26

人々はみな、ひどく驚き、神をあがめ、恐れに満たされて、

ルカ 5:26

神様に従うとき、一番の葛藤になることは何ですか？ 私の答えは、30年前、50年前に出したものと同じではありません。長いこと、私はいろいろなことに葛藤してきました。若い頃の欲望、野心、怒り、焦り、貪欲から、利己主義、憤り、心配、疑い、無思慮に至るまで多岐にわたります。このうちのどれかひとつをなんとか鎮めることができたと思うと、どういうわけか、また浮かび上がってきます。どれが一番やっかいだったかということ、日によって、期間によって、答えが上記のいずれかになったり、あるいは一度に複数になることもあります。

私の戦いは数十年にわたって変化しました。そして今、上記のリストには載っていない葛藤があることに気づきました。とはいうものの、それはずっとそこにありました。大半のクリスチャンは、良いことをしたときに褒められたいという強い欲求があることを知っています。しかし、イエス様が驚くべきことをなされたとき、人々は神様をあがめました。それが、イエス様が望まれたことでした。神様はあらゆる榮譽を受けるに値するお方です。私は、いまだに人から褒められたとしょっちゅう思ってしまう。どうぞこの老いたしもべが賞賛の拍手を求めるのをやめ、純粹な心で神様にお仕えできるように祈ってください。

讃美歌 II233

祈り 親愛なる平安のお父様。あなたの愛を確信し、イエス様というお手本を固く信じて、あなたのご栄光のためだけにすべてのことを行なうことができるように助けてください。イエス様の御名においてお祈りします。アーメン。

ロバート・ブレア
アイオワ州 クレグホーン

7月13日(木)

社会から疎外された人に希望を

聖書朗読 ルカの福音書 8:40~48

「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して行きなさい。」

ルカ 8:48

その女性の病状には回復の見込みがなく、そして彼女は周囲からのけ者にされていました。それでも、彼女は、イエス様に近寄るために群衆をかき分けて進んで行きました。するとイエス様は振り返り、ご自分に触れた者は誰かとお尋ねになりました。彼女はハッと、病が癒される最後の望みが公衆の面前で恥をかくことになるのではないかと戸惑いました。

人が押し寄せていたので弟子たちは少しイライラしていましたが、その女性がイエス様に触れたことが、社会的境界を犯すものであったことを知ったら、おそらくもっと憤慨していたでしょう。イエス様以外の誰にも気づかれずに、「イエスの着物のふさ」、つまり、ユダヤ人男性が衣の四隅につけるふさ飾りの「祈りのショールのふさ」と呼ばれるものをつかんだのです。男性が身につけるその祈りのショールに触れることができるのは家族だけの決まりです。彼女は自分がしたことを知って震えていたに違いありません。

イエス様はこの見知らぬ女性のことを、馴れ馴れしすぎると叱責するのではなく、彼女を家族として迎え入れました。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。」とイエス様は言われました。イエス様は優しい言葉で彼女の病を癒すと同時に、彼女が助けを求めて伸ばした腕を年12年間、拘束していた社会が、彼女を受け入れるようにしました。長い年月を経て、彼女は病と周りの人たちのとの関係が癒されたのです。その喜びを想像してみてください。

讃美歌 87B

祈り 親愛なる主よ。私をあなたの子どもとして迎え入れてくださり、ありがとうございます。子どもはいつもお父様の抱擁に優しく包まれます。私たちは心からそれを望んでいます。イエス様の御名においてお祈りします。アーメン。

ラテーヌ C. スコット
ニューメキシコ州、アルバカーキ

7月14日(金)

完璧に従う

聖書朗読 ルカ9:15~62

その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなた方は何一つ欠けたところのない、成熟した完全なものとなります。
ヤコブ1:4

スペースシャトルチャレンジャー号の事故が起きた時、当時のレーガン大統領は「彼は海で生き、海で死に、海に葬られた。」と言われてたサー・フランシス・ドレークの話を取り上げました。宇宙の仕事に献身していたチャレンジャー号の乗組員たちも、同じように完璧な終わり方をしたのだと話したのです。

イエス様に完璧に従うことは、非常に困難なことのように見えます。本日の聖書朗読箇所はリアルな現実を浮き彫りにしています。様々な日常の心配事がそれを邪魔します。例えば、家族のあれやこれやも大切なことですが、イエス様はただの言い訳に過ぎないとはねつけました。ルカ9章57節で「あなたがどこに行かれても、私はついていきます。」と言った人にも、イエス様に従おうことは思っているより難しいのだと忠告し、まるで思いとどまらせるように見えるようなことを言われました。真にイエス様に完璧に従うことのできる人はいないように見えます。しかし、感謝なことに、マタイ19章26節で「それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。」とイエス様ご自身が私たちに思い出させてくださっています。

ですから、聖霊の力によって不可能に見えることをやろうではありませんか。後ろを振り返ることを止めようではありませんか。イエス様に従いましょう、完璧に。

聖歌 576

祈り ああ主よ。あなた様に完璧に従う強さをお与えください。どのような邪魔が私たちの前にやっけてこようとも、神の国をまず最初に求めますようにお助けください。イエス様のお名前を通してお祈りいたします。アーメン。

ジョッシュ・ボイド
インディアナ州 ラファイエット

7月15日(土)

決意を持ってイエス様に従う

聖書朗読 ルカ9:44~51

さて、天に挙げられる日が近づいて来たころのことであった。イエスは御顔をエルサレムに向け、毅然として進んで行かれた。 ルカ 9:51

彼は何ヶ月もかけて専門的な検定試験の準備をしていました。具体的には、何時間も勉強し、何千問かの問いを解き、受講料13万円の4日間に渡る遠くの州のセミナーに参加しました。検定試験当日の天気は悪く、試験中に雷のせいで電源が落ちてしまいました。彼のコンピューターの中の情報のほとんどはバックアップ保存をしてありましたが、非常に重要な表が消えてしまいました。彼は心の中で、こんなことに邪魔されないぞ、こんな状況でも絶対合格してみせる、と考えたのです。人間は弱いものですから、ちょっとしたことが引き金になって弱気になってしまうことが沢山あります。

人生には、様々な困難があります。そして、成功の原因も失敗の原因もこれが成功の原因だったと言えるものではなく、その原因は多岐に渡っていることが多いです。ちょっとしたことで、私たちは落ち込みますから、私たちの人生において、強い決意なしに物事は成し遂げられません。私たちの行ないをイエス様の歩んだ道と比較することはできませんが、私たちはイエス様の歩まれた道を少しでも見習って歩みたいものです。

今日の聖書の箇所、イエス様は、神様のみこころを遂行すべく、勿論どんなことにも屈せず、「毅然と」エルサレムに向かって行きました。それはご自身の決意です！イエス様はエルサレムで何が待ち受けているのかをはっきりご存じでしたが、神様のみこころを行なうためにこの地上に来たという使命をご存知でしたし、それを実行することを固く決意されていました。それゆえに、どんな困難が待ち受けていることを知っていても、前に進まれました。

私たちも、たとえどんな困難なことがあっても、イエス様に従い、臆することなく毅然と生きていけますように。

讃美歌 449

祈り 父よ。イエス様の生涯の中に、強い決意の模範を見せてくださってありがとうございます。イエス様に従っていくものとして、御足の後を歩んでいくことができますように。イエス様の何より祈ります

ブルース・グリーン
アラバマ州 オペリカ

7月16日(日)

祈りを教えてください

聖書朗読 ルカ11:1~13

さて、イエスはある場所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の1人がイエスに言った。「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」 ルカ 11:1

ルカ11章1節の弟子たちのリクエストをつまらないものだと思う人もいるかもしれませんが、私は「祈りを教えてください」という弟子たちの思いに感動しました。私たちは「どう」祈るのかに焦点を当てます。形式を考えがちです。「祈りを教えてください」というのは、より素朴で、より偉大なリクエストです。ここから読み取れることは、祈らないことは、下手くそな祈りよりもずっと大きな問題であるということです。私たちには祈る理由があるのでしょうか。

私たちは必要なことがあるので祈ります。日々の食事、コントロールすることはできないけれども目の前にやってくること。赦しが必要ですが、それを自ら手に入れることは無理です。誘惑からの救いが必要ですが、そこから自分を隔離することはできません。今の時代に、私の住む国では物質的な必要が全て満たされ、必要なものは何もないように見えます。必要なものがあると気づくと、それが祈りの理由になります。

必要なことがあるということだけでは祈りに繋がりません。イエス様は父なる神様の愛と憐れみをしっかり教えてくださいました。地上の父親ですら我が子の心配をするなら、天のお父様は私たちの祈りに応えてくださるということがわかるでしょう。祈るときの姿勢が、座った形であっても、立った形であっても、ひざまずく形でも、寝そべって形であっても、何語であっても、うめき声(ローマ8:26)であってもいいのです。「どのような形で」というのは重要ではありません。私たちの必要と神様の善き憐れみを意識して、祈りましょう。

讃美歌 308

祈り 父よ。私たちの重荷は重すぎます。あなたの憐れみと力が必要です。主よ。祈りを教えてください。イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

サイヤー・サルブリー
オハイオ州 トレド